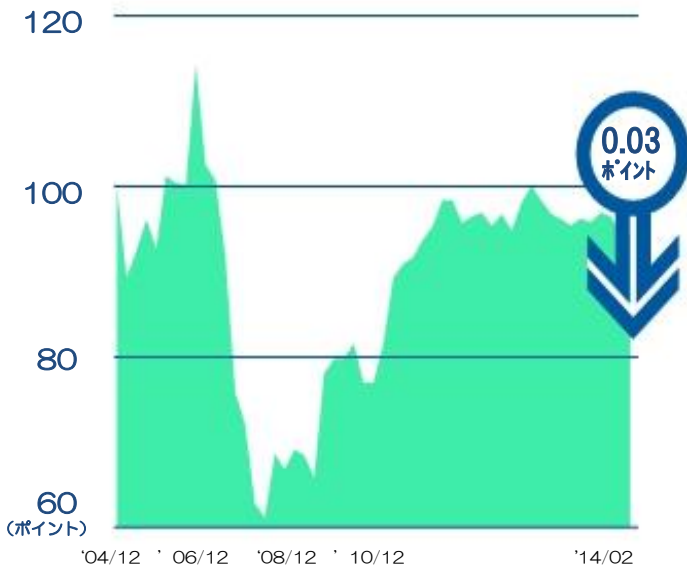


2014年 3月

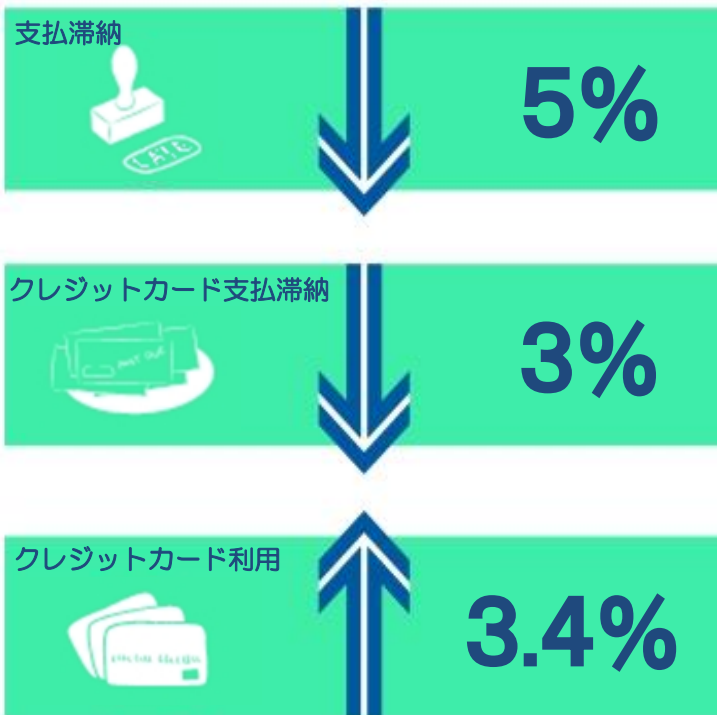
www.dnb.com/tracker

中小企業健全性指数

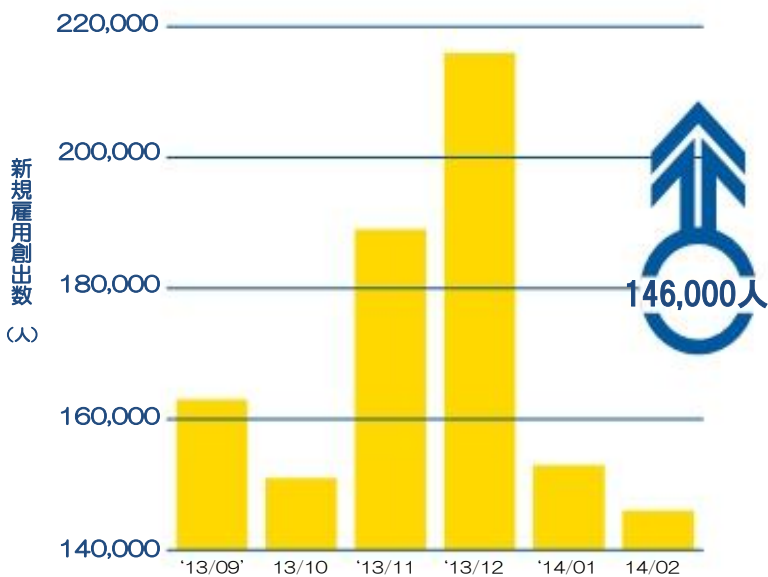


出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

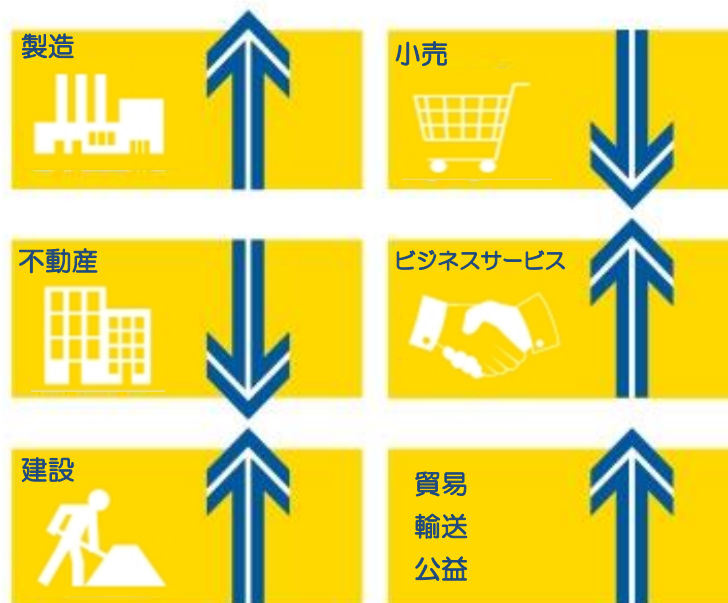
中小企業はクレジットカードや請求書の期限内支払いにおいて改善を見せましたが、D&B中小企業健全性指数は若干低下しました。



米国の雇用健全性



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

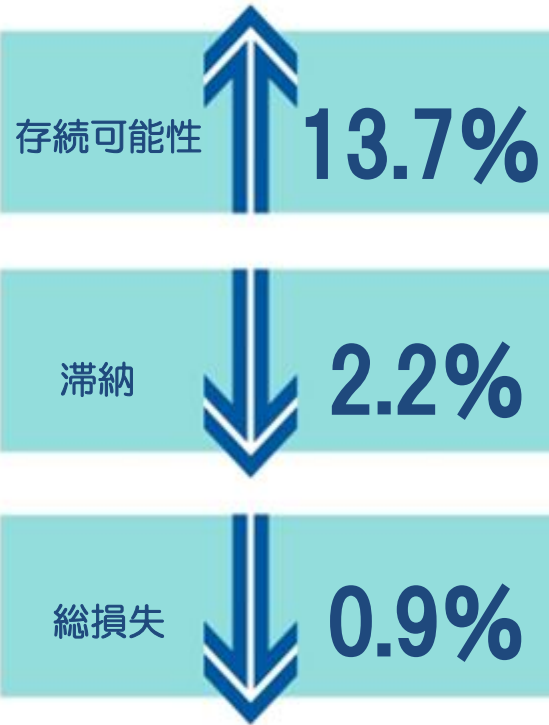
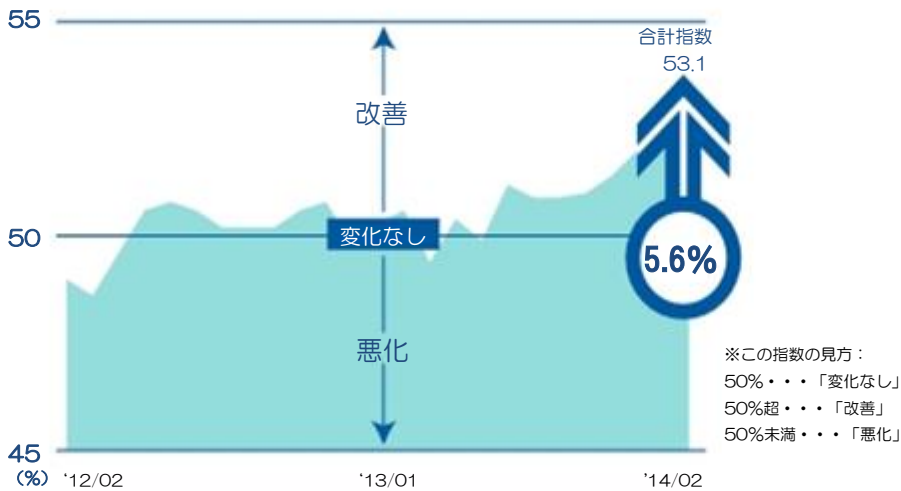


D&Bの推定では、2014年2月、製造、建設、ビジネスサービスでの大幅な雇用増により、米国の新規雇用創出数は146,000人となりました。雇用の伸びは、より緩やかなペースで続くと予想されます。

2014年 3月

www.dnb.com/tracker

米国企業健全性指数



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

米国企業の健全性は、2014年2月、前年比5.6%改善し、2010年12月にこの指数の算出を開始して以来、最高の数値を記録しました。企業は財務諸表と財務内容全般の改善を続けています。

解説

2014年2月の「D&B米国経済健全性レポート」には、米国企業にとって懸念材料と好材料が見られます。

懸念材料は、寒波による影響です。この影響で、中小企業の業績の悪化に拍車がかかり、中小企業健全性指数は若干低下しました。米国の中小企業セクターには減速の兆候が見られ、この悪化の主な影響は明らかに悪天候によるものです。

一方、好材料として、新規雇用創出数が146,000人に達しました。建設、製造、ビジネスサービス部門が、当月の雇用の伸びを大きく牽引し、米国企業健全性指数が上昇し、53.1を記録しました。これは、2010年12月にこの指数を算出し始めて以来、1月に匹敵する最高の記録となっています。

D&B持続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均に基づく、2014年初め、米国企業は財務健全性の強化を続けました。景気回復には引き続き課題が残るものの、財務指標や財務諸表が示す財務の健全性の改善は、米国経済にとって良い兆候といえます。

各指数の算出方法について

「中小企業健全性指数」は、支払パターン及びクレジットカードの利用等の加重により、中小企業の前年比実績を測定評価したものです。

「米国の雇用健全性」は、中小企業健全性指数の業界データを米国労働統計局（BLS）の数値と組み合わせて、毎月の非農業部門雇用者数を予測したものです。「米国企業健全性指数」は、D&Bの持続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均の前年比増減を示したものです。変化の大きさを測定する累積景気動向指数（累積DI）には、ゼロ（全企業が高リスクを記録）から100%（全企業が低リスクを記録）までの幅があります。データについては、2014年2月28日の時点で入手可能なデータを元としています。

詳細についてはウェブサイト (www.dnb.com/tracker) をご覧ください。

ダンアンドブラッドストリート® (D&B) について

ダンアンドブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億3000万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。これら質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

© Dun & Bradstreet, Inc. 2014. All rights reserved. (DB-3765 3/14)